

大津町議会経済建設常任委員会と大津町企業連絡協議会との

意見交換会 会議録

1. 日 時 令和元年8月21日（水）午後5時00分
2. 場 所 オークスプラザ 1階 研修室1・2
3. 出席者 (大津町議会側) 7人
 - 委員会 永田委員長 津田副委員長 豊瀬委員 金田委員
山本委員
 - 議会 桐原議長
 - 議会事務局 矢野局長

(大津町企業連絡協議会側) 11人

國武会長他 別紙名簿

(町執行部) 4人

田上経済部長、村山土木部長、
(企業誘致課) 梅田課長、西田係長
(建設課) 野田審議員兼建設係長
4. 現況説明
 - ① 雇用の促進について (経済部企業誘致課)
 - ・ 高校生の県内就職率は全国で4番目に低い。
 - ・ 翔陽高校の民間企業就職内定者137名中大津町内企業へは14名。うち企業連絡協議会の企業へは12名となっている。
 - ・ 県外企業へ人材が流出する理由としては、生徒や家族が就職先について県内県外の差を感じていない。都市部の企業は社員寮を有している。
 - ・ 今後も進路状況の把握に努めるとともに、産業・教育・行政が連携して県内企業を支える人材の育成と若者の地元定着に努めたい。
 - ② 国道57号復旧等幹線道路の整備状況について (土木部建設課)
 - ・ 国道57号北側復旧ルートについては、2020年度開通目標。
 - ・ 中九州横断道路は、合志市から大津町までの区間は都市計画及び環境影響評価の手続き中。そこから東の大津町に關係する区間は現在のところ未定。これら菊池南部地区は熊本県の製造品出荷額の約3分の1を生産しており、今後更に企業が進出してくることが期待されている。

5. 議題

① 地域活性化に係る意見交換（企業誘致の推進・工業基盤の整備・雇用の促進）について

企業連：町は今後工業団地を増やすことができるのか。また、近隣自治体では工業団地についてどのような状況か。

執行部：農地法や都市計画上の法的な縛りはあります。計画に基づいて進めたいが、現在のところは民間業者の開発に依存している状況です。

菊陽町は既に用地交渉を開始しています。合志市は計画があります。菊池市は県の工業団地が進出未定となっています。

企業連：先般、住宅団地の近隣に工場の移転を行った。そこの住民から、どうして住宅の横に移転するのかと言われた。議会にも企業と住民との問題解決に関わっていただけたらと思う。

また企業側も、何をしている企業なのかを積極的に P R や広報に努めなければならないと思った。

執行部：町の発展や活気に企業の皆様が如何に貢献しているのかを、行政側としても発信していきたいと思っています。町の広報誌の 10 月号から企業紹介の連載を始める予定です。

委員長：本委員会では近隣自治体の議会とも意見交換会を行い様々な意見や要望をいただいている。県や国の補助事業なども大津町単体だと難しいが、近隣と協力すると有益な事業もある。このような広域での高域的な取り組みも考えながら、今後のまちづくりに活かしていかなければと思う。

閉会 午後 6 時 10 分

令和元年8月21日開催

大津町議会経済建設常任委員会と大津町企業連絡協議会との意見交換会

企業連絡協議会 役員参加者名簿

役職名	企業名	氏名	支部	議会 意見 交換会
会長	(株) イズミ車体製作所	國武 幸弘	大津	○
副会長	松島金属(株) 熊本工場	松島 嘉浩	北部	○
〃	サンユー工業(株)熊本工場	東 芳一	室	○
〃	(株) テクノフレックス	工藤 勇人	中核	○
理事	(株) 上村エンタープライズ	城 房雄	大津	○
〃	中央可鍛工業(株) 熊本工場	山本 徹 (田口 昌穂)	室	○
〃	(有) 日辰工業	平岡 栄理	室	○
〃	濱田重工(株) 熊本工場	川添 浩 (美野 洋一)	中核	○
〃	小林クリエイト九州(株)	山岡 義紀	中核	○
顧問	(株) くまさんメディクス	鳥栖 彰孝	北部	○
相談役	(株) 池松機工	池松 康博	大津	○